

○ 大都市圏の成長を通じた日本の再生

（２）統合型リゾート（ＩＲ）の立地実現

（内閣官房・カジノ管理委員会・国土交通省・厚生労働省・財務省・警察庁）

【本市の提案・要望】

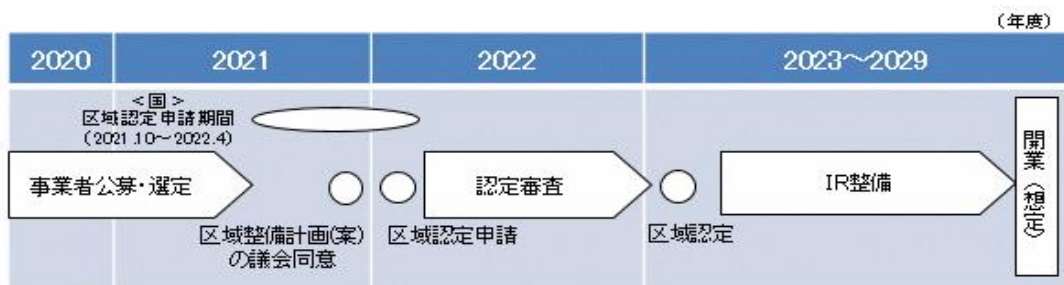
- IR税制、カジノ管理規制など、国際標準・国際競争力が確保された詳細制度の早期設計
- 懸念されるギャンブル等依存症対策の充実・強化
- 良好な治安・地域風俗環境の保持に向けた警察力の強化

【現状・課題】

- 統合型リゾート（ＩＲ）については、我が国の魅力創出に寄与し、経済成長のエンジンとなるものであり、ポストコロナにおいても、再び観光を成長軌道に乗せ、観光立国を実現するためには、ＩＲの導入は不可欠である。
- 令和５年４月には、大阪府市が大阪ＩＲ株式会社と共同して令和４年４月に認定の申請を行った大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画について、国土交通大臣より認定を受けたところである。
- 日本型ＩＲの実現に向けて、ＩＲ税制について法制化されたが、運用面を含めて国際標準・国際競争力が確保されたものとする必要がある。また、カジノ管理規制等について、各種基準が早期に制定・明確化され、運用面を含めて国際標準・国際競争力が確保されたものとする必要がある。
- ギャンブル等依存症への対策については、その内容を区域整備計画（令和５年４月認定）にとりまとめ、大阪府市で全国のトップランナーをめざして検討を進めており、令和５年３月に大阪府において第２期大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画が策定されたところである。ギャンブル等依存症対策を総合的かつ計画的に推進するため、新たにワンストップ支援拠点（「(仮称)大阪依存症センター」）の設置等にも取り組むこととしており、国においても十分な予算を確保して財政措置を講じるとともに、既存のギャンブル等に起因するものも含め対策の更なる充実・強化を図る必要がある。
- さらに、良好な治安の確保及び善良な地域風俗環境を保持するため、更なる警察力の強化に向けた万全の措置を講じる必要がある。

担当：ＩＲ推進局・健康局

開業に向けた想定スケジュール



大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画（概要）

○大阪IRのコンセプト

- ◆基本理念 あらゆるものを「結ぶ」起点となる
- ◆コンセプト “結びの水都”
- ◆ビジョン “WOW”Next

MGM が展開する
世界最先端の“WOW”



大阪・関西が誇る観光・
産業・文化にわたる魅力・
ポテンシャル

- ◆世界最高水準の成長型 IR を地域とともに実現する
- ◆観光産業の高度化、持続可能性の向上に寄与する

○IR事業者

名称	大阪 IR 株式会社
本社	大阪府大阪市
構成員	◆中核株主（2 社） 合同会社日本 MGM リゾート オリックス株式会社 ◆関西地元企業を中心とする少数株主（20 社）

○IR事業の工程

- ◆開業時期：2029 年秋～冬頃（想定）
- ◆大阪府・市及び IR 事業者は、世界最高水準の IR 及び早期開業による速やかな事業効果の発現が実現できるよう、公民連携して取り組む。

○IR区域整備による経済的社会的効果

I R 区域への来訪者数	約 2,000 万人／年 国内：約 1,400 万人／年 国外：約 600 万人／年
--------------	---

※近畿圏

初期投資額	約 1 兆 800 億円
経済波及効果（建設時）※	約 1 兆 5,800 億円
経済波及効果（運営）※	約 1 兆 1,400 億円／年
雇用創出効果（建設時）※	約 11.6 万人
雇用創出効果（運営）※	約 9.3 万人／年

○大阪IRの実現に向けた課題

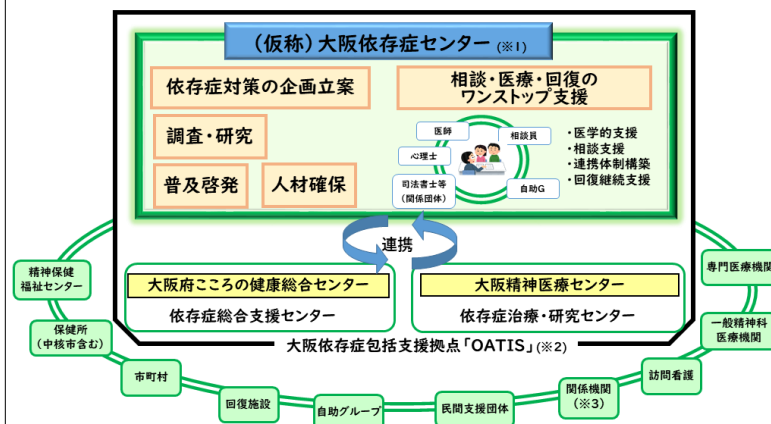
- ◆IR事業の実現には、現時点での不確定事項、課題の解決が必要不可欠である。
- ◆大阪府・市及び IR 事業者は、これら課題の解決と IR 事業の実現に向け、引き続き公民連携して取り組む。
- 新型コロナウイルス感染症の影響
- 国の詳細制度設計（IR 税制・カジノ管理規制等）
- 夢洲特有の課題

○ギャンブル等依存症対策

大阪府市が実施する対策

◆大阪独自の支援体制の構築

- 悩みを抱える方へのワンストップの支援拠点として「（仮称）大阪依存症センター」設置など



- ◆普及啓発の強化
- ◆相談支援体制の整備
- ◆治療体制の整備
- ◆切れ目のない回復支援体制の整備 など

※1 機能は現時点での予定。今後ニーズ把握や関係機関等との調整の上で決定
※2 Osaka Addiction Treatment Inclusive Support
※3 福祉・司法・消費生活関係機関

IR 事業者が実施する対策

◆責任あるゲーミングを着実に実施するための体制構築

- 独立した責任あるゲーミング専門部署の設置
- MGM において導入実績のある責任あるゲーミングに関する、顧客への啓発や従業員教育を含む包括的プログラムを、日本の実情に合わせて導入 など

◆厳格な入場管理・利用制限措置

- 最先端の ICT 技術（生体認証等）の活用等によるカジノ施設の厳格な入退場管理の実施 など

◆依存防止のために講じる措置

- 24 時間 365 日利用可能な相談体制等の構築
- 視認と ICT 技術を活用した、問題あるギャンブル行動の早期発見
- 賭け金額や滞在時間の上限設定を可能にするプログラムの導入
- 調査研究に必要な情報やデータ提供など、ギャンブル等依存症対策に関する研究への貢献 など